

中日本ハイウェイ・パトロール東京株式会社



2023 経営計画チャレンジ V (2021-2025)

2023

Central Japan Highway Patrol Tokyo Co., Ltd.
Management Plan Challenge V2021-2025



基本理念

私たちは、NEXCO 中日本グループの一員として、
**高速道路の安全を通して、社会に貢献し、
 信頼される企業を目指します。**

経営方針

- 交通管理のプロ集団として、快適で安心できる高速道路を支えています。
- 徹底した教育・訓練により、社員とお客さまの安全を追求します。
- 社員一人ひとりの絆を大切に、明るい活力ある職場を創ります。
- 交通管理に対する社会の理解の向上を図り、信頼され、社員、その家族が誇れるより良い会社を目指します。
- 業務の効率化を推進し、イノベーションを加速させ拡大・成長につなげ、より強い会社を目指します。
- 高速道路の交通管理・道路管制・法令違反車両取締等の業務を通して、地球環境の保全に配慮し、環境負荷の低減に取り組みます。

行動指針

- 私たちは、事故を風化させず、自らの安全を確保し、お客さまを守ります。
- 私たちは、日々訓練を重ね、常に冷静沈着に行動します。
- 私たちは、安全性向上を目指し、知識・技能の研鑽に努めます。
- 私たちは、規律とチームワークを大切に行動します。
- 私たちは、お客さまの立場に立ち、至誠をもって行動します。
- 私たちは、高速道路の未来をみつめ、イノベーションを続けます。
- 私たちは、コンプライアンスを遵守し、社会的責任を果たします。

環境低減負荷への取り組み

経営方針に掲げる環境負荷の低減に向けて、以下の取り組みを行います。

- 環境に関する法規制や条例などを遵守し、社会的要請に応えます。
- 廃棄物や電気使用量の削減に努めます。
- 制服リサイクルなど、資源の有効活用に努めます。
- 地域の環境保全活動に積極的に参加します。
- 社員一人ひとりが率先して環境負荷低減活動に取り組みます。

NEXCO 中日本の企業理念・私たちの役割

私たちは、安全を何よりも優先し、安心・快適な高速道路空間を 24 時間 365 日お届けするとともに、高速道路ネットワークの効果を、次世代に繋がる新たな価値へ拡げることにより、地域の活性化と暮らしの向上、日本の社会・経済の成長、世界の持続可能な発展に貢献し続けます。

私たちの基本姿勢

私たちは、「6 つの基本姿勢」の実践を通じて NEXCO 中日本グループの企業価値を高め、ステークホルダーの皆さまの期待に応えます。

社会の課題と向き合う	お客さま起点で考える	現場に立って考え行動する
時代に即して進化を続ける	効率性を追求する	経験と知見を結集する

2023 経営計画
 チャレンジ V (2021-2025)
 3 年目のスタートに当たり



代表取締役社長 大川 幸寛

私たち中日本ハイウェイ・パトロール東京は、2008 年の会社設立以来、交通管理、道路管制、法令違反車両取締等の業務を通じて、「高速道路の安全を守る」ことに取り組んできました。

当社の管轄は、日本の大動脈である東名・新東名・中央道をはじめとする 888 km の区間です。高速道路を 24 時間 365 日監視して、迅速かつ確かな交通情報提供に努め、そして、1 年で約 750 万 km、地球 180 周以上の距離をパトロールし、事故や故障、落下物に対処しています。

また、道路構造物の長期耐久性に重大な影響を与え、また事故の危険性が高い法令違反車両の取締りを実施して、お客さまの安全と高速道路を守っています。

私たちは、誇りと使命感をもって快適で安心できる高速道路を支え、高速道路の安全を通じて SDGs に貢献してまいります。

2023 経営計画

今年は、経営計画チャレンジ V (2021-2025) の 3 年目に当たります。

2012 年 12 月 2 日に発生した中央道笹子トンネル天井板崩落事故、2019 年 11 月 9 日の当社社員の殉職事故の痛みを深く胸に刻み、再発防止策に徹底して取り組んでいく、この強い決意のもと策定した 5 年計画は、3 つの基本施策を柱としています。

不確実で予測困難な時代ですが、変化に柔軟に対応し、着実に推進してまいります。

基本施策 1 「安全性向上への取り組みの深化」

「高速道路の安全を守る」、私たちの使命であり、そして、安全性向上の取り組みは、深化させ続けていかなければならない最優先課題です。

現場での気付きを「安全」を高めていくための提案につなげる取り組みなどを活用して、社員一人ひとりが主体的に「安全」を考える「安全文化」を組織に根付かせてまいります。

高速道路空間の安全性を高める各施策がより効果を発揮するよう PDCA を回しながら全員で考え、改善し、不断に推進してまいります。

基本施策 2 「明日を担う人財の育成」

当社の業務は、人なくして成り立ちません。高速道路という 100 km/h 前後で自動車が行き交う空間で、事故や故障車、落下物といった事象に安全に対処し、お客さまを二次的事故から守る使命を持っています。

新入社員研修に始まる階層別研修や運転技術などの研修の充実を図るとともに、安全行動に関する習熟度を一人ひとり確認しながら、ベテランの経験・スキル・ノウハウといった技術伝承にも力を注いでまいります。

交通管理のプロとして高い社会貢献意識・倫理観を持ち、そして至誠を持ってお客さまに寄り添える社員像を目標として浸透させ、「高速道路の守り神」と言っても恥ずかしくないレベルまで社員一人ひとりを育成してまいります。

基本施策 3 「次世代への進化・チャレンジ」

10 年後、20 年後、30 年後の未来を見据え NEXCO 中日本と協働して業務の高度化を推進してまいります。

デジタル技術をはじめ最新技術にアンテナを高く張って、情報収集能力、情報発信能力の向上に努めてまいります。

一方、社員一人ひとりの心と体の健康なくして高速道路の安全は守れません。

社員一人ひとりが誇りを持って明るく元気に職務を全うし、そして健康で幸せな老後を過ごすことを目指した「健康経営」の取り組みも推進してまいります。

事故や故障でお困りのお客さまに「パトロール東京の隊員が来て安心できた」「助かった」と常に言っていただけるよう、お客さまの「信頼」をさらに高めることができるよう、全社員一丸となって取り組んでまいります。

引き続き、ご支援・ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

チャレンジ V

2021-2025

基本方針・基本施策・個別施策・取り組みキーワード

・【基本方針】 2021 年度から 2025 年度までの5ヶ年の方針 ・【基本施策】 基本方針を推進するため、特に投下する施策 ・【個別施策】 具体的な各部門の施策

基本方針 I. 安全性向上への取り組みの深化

基本施策	個別施策	取り組みキーワード
(1) 安全文化の醸成に努め、安全の深化に取り組みます	<ul style="list-style-type: none"> ■「安全文化醸成」の取り組みを深化 ■業務中事故防止策の取組み（継続） ■関係機関との合同訓練等で連携や意思疎通の強化 ■現場経験に基づく訓練プログラムや技術伝承の推進 ■大規模災害への備え ■潜在的リスクに対応したリスクマネジメントの推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・pato メモ活動 ・経営陣とのコミュニケーション ・基地コミュニケーション ・安全意識の高揚（業務中・業務外） ・現地安全指導 ・車両管理 ・ヒヤリハット検証 ・安全掲示板への投稿 ・危険見積りの更新 ・VPIS ・高視認性安全服やプロテクター ・IP 無線 ・訓練会 ・各種安全装置の検討 ・合同訓練 ・個人訓練カルテ ・技術伝承 ・BCP による BCM の推進 ・リスク分析と対策
(2) お客さまへの安全対策を推進します	<ul style="list-style-type: none"> ■高速道路で待機中の安全性向上施策推進 ■異常事態に遭遇された場合の対処方法を発信 	<ul style="list-style-type: none"> ・セーフティベスト ・セーフティコール ・早期現着 ・SSR ・ホームページ活用
(3) 道路の老朽化対策に向けた大型車両の通行の適正化や交通危険防止のため、法令違反車両の取締りを強化します	<ul style="list-style-type: none"> ■車限令取締業務の安全な履行 ■関係機関と連携した効果的な取締りの実践 ■車限令取締業務に関する業務高度化への適切な対応 	<ul style="list-style-type: none"> ・車限版危険見積りの更新 ・本線軸重計データ ・違反嫌疑車両情報 ・機動取締まり ・特車違反システム
(4) グループ内の連携・コミュニケーションを強化し、安全性向上に向け行動します	<ul style="list-style-type: none"> ■巡回データや知見をグループ内へ発信・共有 ■人事交流（人材提供）によるグループ間の安全性向上 	<ul style="list-style-type: none"> ・グループ連携と協働 ・安全提案 ・自社データの活用 ・ロードキル対策 ・危険見積りの共有 ・人事交流

基本方針 II. 明日を担う人財の育成

基本施策	個別施策	取り組みキーワード
(1) 培ってきた現場スキル・ノウハウを基盤に積極的に自主性を発揮できる社員の育成を図ります	<ul style="list-style-type: none"> ■各種研修や訓練等による自己改革や組織力強化 	<ul style="list-style-type: none"> ・各種研修 ・各種訓練等
(2) 社員一人ひとりの CS マインドの醸成に努め、お客さま視点で考え行動できる人財を育成します	<ul style="list-style-type: none"> ■SSR を活用した CS マインド向上 ■pato メモ活動による CS 向上 	<ul style="list-style-type: none"> ・SSR ・pato メモ活動 ・CS 会議 ・外国人対応
(3) CSR の観点を持った人財を育成し、社会から信頼され続ける会社を目指します	<ul style="list-style-type: none"> ■コンプライアンス意識の醸成 ■ワークライフバランスの充実 ■ダイバーシティ経営の推進 ■コミュニケーションの活性化 ■業務研究発表会を通じた人財育成 ■表彰制度による組織活性化 ■健康経営の推進 ■福利厚生施策の推進 ■ヘルプラインの継続運用 ■社会貢献活動 ■環境負荷低減活動 ■情報セキュリティ対策 ■カバナン強化 ■公正妥当な財務計画と執行 	<ul style="list-style-type: none"> ・コンプライアンスタイム ・ミニコンプライアンスタイム ・ワークライフバランス ・ダイバーシティ（多様性） ・女性活躍 ・就業環境整備 ・雇用延長 ・コミュニケーション ・業務研究発表会（社内） ・社内表彰制度 ・健康経営 ・感染症予防 ・福利厚生 ・ヘルプライン ・社会貢献 ・地域連携 ・環境配慮 ・情報セキュリティ ・内部監査 ・収支計画

基本方針 III. 次世代への進化・チャレンジ

基本施策	個別施策	取り組みキーワード
(1) i-MOVEMENT を通じ、業務高度化による安全性及び生産性向上に取り組みます	<ul style="list-style-type: none"> ■業務高度化に向けた NEXCO 中日本との協働 ■新交通管理システムと連携した業務報告書システムの運用 	<ul style="list-style-type: none"> ・i-MOVEMENT プロジェクト ・管制タブレット ・新交通管理システム ・伊勢原検証 ・SNS 情報提供 ・自社データ蓄積
(2) 高速道路の管理方法・体制の構築など時代変化に柔軟に対応していきます	<ul style="list-style-type: none"> ■交通状況や道路構造などを踏まえた適正な管理 	<ul style="list-style-type: none"> ・業務適正化 ・安全管理体制の強化検討
(3) イノベーションを加速させ、業務改善活動の活性化を推進し、社員と会社を成長・発展させていきます	<ul style="list-style-type: none"> ■「pato メモ」による業務改善活動 ■自主調達による現場に即した資機材の迅速導入 ■NEXCO 中日本グループ業務研究発表会での発信 	<ul style="list-style-type: none"> ・pato メモ活動（社員の声を業務改善へ） ・自主調達を活用した資機材の迅速導入 ・NEXCO 中日本グループ業務研究発表会
(4) 自社の付加価値を生み出し、経営資源の最適化を目指します	<ul style="list-style-type: none"> ■安全性向上に寄与する自社製品の販売 ■安全講習会 ■ホームページを活用した安全啓発情報等の発信 	<ul style="list-style-type: none"> ・自社製品の販売 ・路上作業安全講習 ・ホームページ活用

企業理念・社長メッセージ
 チャレンジVキーワード表
 I 安全性向上への取り組みの深化
 II 明日を担う人財の育成
 III 次世代への進化・チャレンジ
 達成目標・PL
 会社概要・SDGs

安全文化の醸成に努め、安全の深化に取り組みます。

1 「安全文化醸成」の取り組みを深化させます。

- 安全意識の向上につながる社員の気付きや提案の推奨 (pato メモ活動の継続・安全掲示板への投稿の推進)

patoメモ活動を活用した安全意識の向上★

社員一人ひとりの日々の気付きや提案を大切に、業務に活かす pato メモ活動を推進。更に、この中からNEXCO 中日本の安全掲示板へ投稿し、提案が具現化されることでさらに安全意識が高まります。どんなことでも提案しやすい雰囲気づくりを進めています。

登録(件数)	2020年度	2021年度	2022年度
pato メモ提案	1,993件	2,034件	1,977件
安全掲示板登録	309件	340件	525件
安全提案具現化	75件	71件	58件

◎具現化例



【東名愛鷹PA合流部】
3本の通路が同時に合流する構造のため注意喚起の看板を設置

- pato メモ構成 —
- 社員の気づき
 - お客さまのつぶやき
 - ヒヤリハット

- 「役員との意見交換会」や「安全対話」など基地キャラバンによる経営陣とのコミュニケーションの推進
- 定期的な「隊長会議」の開催による意思疎通及び会社の運営方針の浸透
- 「安全の日」「安全月間」及び「安全を振り返る日」を活用した安全意識の高揚。

安全の日

2019年11月9日に発生した大月管内の殉職事故のような悲しい事故を二度と起こさないことを誓うため、11月9日を「安全を振り返る日」と制定、毎月9日を「安全の日」、毎年11月を安全月間に定め、安全に関する職場討議や訓練を実施しています。



また、2012年12月2日の笹子トンネル天井板崩落事故を決して忘れず安全性向上を誓うため、毎年12月2日に黙とう、安全行動指針の唱和、職場討議を行っています。

- 安全指導による作業の適正化及び安全性向上の推進

安全管理課による安全指導

交通管理員作業要領に基づいた基本の徹底、巡回や路上作業等の業務実施状況について、年1回以上、安全管理課が各基地に赴き指導を行っています。また、毎月過去の事故事例を共有し、各基地でその時の状況を想像し、振り返り、議論を交わし、自分事として取り組んでいます。



- 安定した車両管理の促進 (予防整備によるリスク回避)

2 業務中事故防止策に取り組みます。

- 規制作業を行う上での危険箇所と過去の道路防災事例を取り入れたVPIS※の効果的な運用 (激甚化する自然災害への対応)

※VPIS (ヴィーピス) : 車両位置情報システム

VPISによる業務の効率化

道路管制センターでは、巡回車の位置を把握するのに指定用紙で確認していましたが、迅速な巡回車の位置把握が困難でした。VPIS (GPS) を導入したことで新人からベテランまで速やかな巡回車への指令ができ、異常事態への早期対応の一助となっています。



紙での把握 → VPISで一目で確認

- 巡回車に搭載可能なセーフティラインの早期導入に向けた協力

セーフティライン (先頭固定時など後続車両に離隔距離を示すサイン)

起伏式標識装置付き巡回車への搭載に向け、NEXCO 中日本と協働していきます。



照射イメージ



- 隊員の安全確保に向けた高視認性安全服の更なる機能強化

高視認性安全服のさらなる安全性強化

視認性が高く、夜間でも目立つ蛍光レッド。通気性の良い素材で動きやすいデザインに改良した高視認性安全服に、命にかかわる身体ダメージを軽減させてくれる、部位別プロテクターを縫製することで、機敏性を確保し安全性を高める検証を続けていきます。



G-Form
プロテクター

- 過去事例の情報発信による啓発と安全意識の醸成

過去事例の共有

毎月、安全管理課から過去事例を共有、各基地では安全討議などで振り返り活用しています。

- ヒヤリハットの推進に向けたインセンティブの付与

3 関係機関との合同訓練等で連携や意思疎通の強化を図ります。

- IP無線機連携による安全かつ効果的な路上作業の推進

IP無線機での連携

IP無線導入で現場高速隊とダイレクトに連絡を取り合い、位置確認や先頭固定の調整、現場状況など迅速な共有で早期車線確保など異常事態の早期対応に繋がっていきます。導入効果を他機関へ周知、導入済みの各県警における運用状況の把握と改善を進めています。



IP無線を活用した高速隊との合同訓練

IP無線導入実績
【2021】山梨県警導入・運用開始
【2022】静岡県警、神奈川県警 導入・運用開始

- 合同DIG訓練※・コミュニケーション強化による最適な処理方法の確認・検討 ※DIG (ディグ) : 災害図上訓練



4 現場の経験に基づく訓練プログラムや技術伝承を推進します。

- 個人訓練カルテを活用した訓練プログラムによる個々のスキルアップ
- 現場力向上を目指した全基地合同で行う高速道路安全訓練会の開催
- 安全作業検討会による作業手順の改善に向けた継続的検証
- ベテラン社員が持つスキル・ノウハウの蓄積・伝承 (形式知化)

技術伝承の推進

長年交通管理隊として培われてきたベテラン隊員が持つスキル・ノウハウ、地域独特の対処方法など、若手社員に確実に伝承していくため、全社共通のプラットフォームで事例を共有できる仕組みを構築。データを積み上げていきます。



5 大規模災害などリスクに備えます。

- 大規模災害などに備えるためのBCP (事業継続計画)・BCM (事業継続マネジメント) の継続検証および改善
- 重大事故対応フローなど危機事象対応方法 (クライシスマネジメント) の周知徹底 (都度)
- 異常気象が予想される際の準備体制の構築
- 交通管制業務経験者数の一定数確保及び川崎・八王子交通管制基地相互の実務研修を継続実施

大規模災害リスク対応

交通管制業務経験者数の確保、ディザスタリカバリー訓練、川崎×八王子とのクロス研修などスキルアップを図り、リスクに備えています。また各基地ではBCPを作成しています。

6 潜在的リスクに対応したリスクマネジメントを推進します。



お客さまへの安全対策を推進します

1 高速道路上で待機中のお客さまの安全性向上施策を推進します。

- ・セーフティベストやセーフティコールによる安全への声掛け活動の継続
- ・お客さまの安全を目的とした事故・故障車の安全な場所への早期移動や熱中症・寒さ対策グッズの配布

2 お客さまが異常事態に遭遇された場合の対処方法などを発信していきます。

- ・ホームページやSSR（スマイル&セーフティ・リサーチ※）や、社内報などによる情報発信および管理隊の作業内容などの周知
※事故や故障対応を受けたお客さまへお渡しするアンケート
- ・ドライブレコーダー映像を活用した安全啓発活動の推進
- ・管理隊の作業内容や高速道路上でのトラブル時の対応方法動画の掲載

路上での安全対策を情報発信

事故や故障に遭われた際の注意行動をホームページで周知するとともに、SSRにも掲載し、お客さまに周知しています。



道路の老朽化対策に向けた大型車両の通行の適正化や交通危険防止のため、法令違反車両の取締りを強化します

1 法令違反車両の取締りを安全に行います。

- ・車限版危険見積り※の継続的見直し ※危険見積：危険箇所の見える化

法令違反車両取締り強化

路面や橋梁、トンネルなど道路構造物の劣化に大きな影響を与える重量超過等違反車両や、重大事故、交通渋滞の原因となる違反車両の取締りを強化しています。



2 関係機関と連携した効果的な取締りを実施します。

- ・本線軸重計データ等を活用した効果的な取締り計画の策定
- ・交通管理隊等の違反嫌疑車両情報を活用した機動取締りの強化

関係機関と連携したデータ活用

SNSを通じてすぐ情報が拡散し、取締現場を回避し、取締りをしていない場所からの流入が増えています。関係機関との合同取締りや本線内外で警察との連携、交通管理隊や料金所からの目撃情報などを活用して取締りの実効性向上に努めています。



交通管理隊員からの情報

本線軸重データの分析活用

3 車限取締業務に関するシステムの高度化やデジタル化に適切に対応します。

- ・特車違反取締システムの円滑な運用
- ・特殊車両の新たな通行制度（法改正）等への適切な対応



グループ内の連携・コミュニケーションを強化し、安全性向上に向け行動します

1 巡回データや知見をグループ内で共有し安全活動に繋げていきます。

- ・危険見積りの継続的共有および活用
- ・安全性向上に向けた安全掲示板への登録の推進
- ・ロードキル対策などグループ一体となった取り組みの推進
- ・グループ会社に対する安全講習会等の開催
- ・巡回データ等を活用した安全提案の推進

2 人事交流（人財提供）によるグループ間の安全性向上に貢献します

スキルを活かしたセカンドキャリア環境の構築★

グループ一体となった安全性向上に当社のスキルを提供することにより、高齢になっても安心して働ける環境の整備を進めています。（CSV）※Creating Share Value
（例）施設点検時の運転業務・現場警戒・補助業務など



培ってきた現場スキル・ノウハウを基盤に積極的に自主性を発揮できる社員の育成を図ります

■ 内部・外部の各種研修や訓練等により自己改革や組織力の強化に取り組みます。

- ・明日を担う人財育成を目的とした隊員育成プログラムに基づく各種研修の実施
- ・視野拡大と自主的行動の促進を目的とした他業務研修の実施
- ・運転技術指導者の拡充や、セーフティドライバーコンテストなどへの参加による技術向上

No	訓練・研修	目的	実施計画
1	新入社員研修	・会社の業務内容や就業規則等の基礎知識、社員としての心構えなどの理解 ・業務に関する基礎的スキル・技能の習得	採用時随時実施
2	新入社員フォローアップ研修①	基礎的な技術・知識の習得や業務に対する不安や疑問などの解消	入社後6か月経過した社員
3	新入社員フォローアップ研修②	・先輩社員としての自覚養成 ・後輩社員への指導力習得 など	入社後2年経過した社員（2等級昇格者）
4	運転技能研修	高度な安全運転技能・知識の習得（外部）	入社後1年経過した社員
5	他業務研修	・他業務から学ぶ多角的な現場スキル向上 ・業務コミュニケーション密度の向上	年1回程度（必要の都度）
6	昇格者研修	リーダーシップなど各階層に応じた能力向上	・5等級昇格者研修 ・4等級昇格者研修 ・3等級昇格者研修
7	管理職研修	部下育成や組織力強化などマネジメント能力の向上	年1回（隊長または副隊長）
8	コンプライアンス研修	e-ラーニングによるコンプライアンス意識の強化	年1回（全社員または過去未受講者）
9	交通管制業務クロス研修	ディザスタリカバリー時などBCPの観点から、他の交通管制業務を習得	年数回（管制基地社員対象）
10	インストラクションスキル基礎研修	安全講習指導者向けインストラクションスキル（技能）の基礎学習（外部） ※外部講師を招聘して実施予定	年1回（高速道路安全指導員認定者）
11	安全運転実技指導員課程研修	交通安全指導・教育に携わる者に必要な高度な知識と技能の習得	高速道路安全指導員や教育班長から選抜

人財育成プログラム

新入社員研修

基礎的な知識・技術の習得

高速道路安全訓練会

会社設立の2008年から知識技術の向上を目的に毎年行っています。他基地と交流することで安全意識の向上、モチベーションのアップを目指しています。

個人訓練カルテ（習熟度の可視化）

訓練の重要性を認識し、会社として十分な訓練機会を提供しているか、訓練が過不足なく行われているか確認するため、各基地において全隊員の訓練状況を把握し、個々のスキルや訓練状況に合わせて教育指導を行っています。



高速道路安全訓練会



新入社員研修

社員一人ひとりのCSマインドの醸成に努め、お客さま視点で考え行動できる人財を育成します

1 お客さまの声をCSマインド向上につなげます。

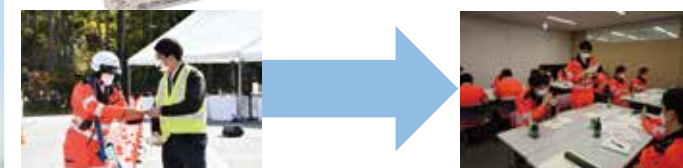
- ・SSRを活用したお客さまの声の収集や、お客さまのつぶやき等を書きとめるpatoメモ活動の促進

SSRを活用したお客様ニーズの把握★

SSRにより収集したお客さまの声を大切に、CS会議で共有や振り返りや接遇訓練などを実施、お客さまのニーズを把握しCS意識向上に活用しています。

SSR活動状況	2020年度	2021年度	2022年度
配布枚数	7,000	13,291	14,481
返信枚数	450	1,128	1,583
SSR感動指数（お客さま満足度）	98.0%	98.3%	98.5%

※2013年～配布中



II. 明日を担う人財の育成

CS 感動賞 ★

SSR でお客さまからいただくコメントの中から、毎月「特に感動が伝わったコメント」を選出し CS 感動賞を授与、日々の SSR 活動に報い、CS マインドの醸成と社員のモチベーション向上を目的として実施しています。



(2021 年度～)
2021 年度 38 件 / 2022 年度 30 件 (2 月時点)

2 現場で気づいたお客さま視点の施策提案及び導入などにより CS 向上を目指します。

- ・安全や CS など業務改善に繋げる pato メモ活動の推進
- ・各基地における CS 会議や接遇に関する研修等の継続
- ・多言語翻訳機による丁寧な外国人対応

CSR の観点を持った人財を育成し、社会から信頼され続ける会社を目指します。

1 CCO を中心にコンプライアンス意識の醸成を図ります。

- ・「風通しの良い職場づくり」に向けたスマイルコンプライアンス活動の推進
- ・NEXCO 中日本と合わせた「コンプライアンス・タイム」の確実な実施 (四半期に1回) と、当社独自の「ミニコンプラタイム」の継続開催 (毎月1回) 等、継続的な教育の実施

コンプライアンス意識の浸透 ★

期待に応え続ける意識の形成のためさまざまな対策を行っています。

- ・ハラスメントに対する正しい理解に向け た Q&A の作成
- ・弁護士による講習会
- ・e-ラーニングによる反復学習
- ・相談しやすい窓口の拡充



2 ワーク・ライフ・バランスの実現に向けた取り組みを推進します。

- ・心身のリフレッシュを図るため、公休を含めた連続休暇取得の奨励
- ・「業務の効率化・平準化」や「定時退社日」など、所定時間内での効率的な働き方の推進

育児休業取得者数 (産休)			
項目	2020	2021	2022
男性	0	3	8
女性	1	0	0 (1)

働きやすさに関する指標			
項目	2020	2021	2022
総労働時間	1836:20	1841:30	1860(見込み)
ES 調査値※	3.87	3.82	3.86

※社員意識調査

3 ダイバーシティ経営を推進し、企業価値の向上を目指します。

- ・女性隊員も働きやすい職場環境・制度の整備及び女性社員の比率拡大
- ・ライフプランに合わせた休暇取得の奨励や、年齢・スキルなどに適応した就業環境の整備・推進
- ・障がい者への就業機会の提供
- ・少子化に伴う労働人口の減少や高齢化の進展を踏まえ、労働力確保対策に取り組めます。



女性隊員リモート交流会

ダイバーシティ経営の推進

- ・女性活躍推進プロジェクト
2018 年に 3 人誕生した女性隊員は現在 10 人に。悩みや課題を共有するため交流会を定期的開催しています。NEXCO グループの女性隊員とも交流を進めています。

- ・育児のためのサポートブック作成
男性も女性も働きながら育児に専念できる環境整備を進めています。妊娠・出産・育児に関する制度や諸手続きなどを取りまとめたサポートブックを作成しました。



女性隊員他社合同研修

		2018	2019	2020	2021	2022
女性隊員数		3 人	4 人	6 人	8 人	10 人
所属基地		川崎	川崎 横浜 小田原 甲府	川崎 横浜 静岡 伊勢原 甲府	横浜 静岡 伊勢原 八王子 甲府	川崎 横浜 静岡 伊勢原 浜松 八王子 甲府 諏訪

4 基地内のコミュニケーションを活性化させます (社内報や全体ミーティング・引継ぎ機会の活用など)。

5 業務研究発表会での業務改善提案などを通じて自律的に考え行動できる人財育成を目指します。

業務研究発表会 ★

業務研究発表会を毎年開催。交通管理など各業務を深掘りし各基地で取り組んだ研究内容を発表します。業務の記録を残す重要性を学び、自律的に考え行動できる人財を育てます。優秀な作品は NEXCO 中日本の業務研究発表会で発表し、専門技術力のアピールとモチベーションのアップにつながっています。



(基地) 発表⇄(本社) 助言・支援

6 社内表彰制度により、組織の活性化やモチベーションの向上を図ります。

- ・隊長賞やボランティア表彰制度等の継続実施

各種表彰制度 ★

各種表彰制度を設け、社長表彰、ボランティア表彰、ヒヤリハット表彰、褒める文化表彰、CS 感動賞などで組織活性化とモチベーションアップを目指しています。



7 社員一人ひとりの健康増進・保持するため健康経営に積極的に取り組みます。

- ・全社員を対象としたストレスチェックの実施
- ・「運動習慣化」や「食生活改善」など生活習慣の改善施策の推進
- ・健康面談シートの活用と人間ドックを含めた健康診断受診率 100% の維持

健康経営の推進 ★

2017 年に健康経営を宣言、社員の健康を推進し企業価値を高めていくことを目指しています。AI 健康アプリ「カコママ」の活用、ストレスチェックの全員実施、健康診断・人間ドック 100% 受診、脳ドックやピロリ菌検査などオプション費用の補助も行っていきます。

8 感染症予防を引き続き徹底します。

- ・感染症予防の徹底と感染予防対策品の配備及びテレワークや時差出勤などの継続実施
- ・産業医と連携した迅速な検査体制、検査キットの基地配布等による BCP 体制強化

9 社員がより充実して働けるための福利厚生施策を推進します。

- ・自己啓発や能力開発に関する福利厚生施策の利用促進

10 ヘルプライン (社内通報制度) の周知・徹底を継続します。

11 社員の社会貢献意識を高めるための企業風土づくりを推進します。

- ・地域連携強化のための CSR 活動の推進
- ・マッチングギフトや古着支援活動などの継続的取組み

12 環境負荷低減活動に取り組み、持続可能な社会に貢献する企業を目指します。

- ・被服リサイクルやペーパーレスなど地球環境に配慮した資源の 3R の推進

13 情報セキュリティの継続強化及びインシデント対策の実施

- ・専門性を有する人財の育成及び専門部署によるサポート体制の強化

情報セキュリティ対策

情報の重要性や漏洩リスク、サイバー攻撃などのリスクが高まる中、システム障害などのインシデントに対応するため、NEXCO 中日本とも連携し、全社的に情報の安全確保に取り組んでいます。

14 内部監査を実施し、業務の適正化及びカバナンスの強化に取り組めます。

15 健全な経営に向け、公正妥当な財務計画を策定し執行します。

契約手続審査委員会設置

物品、役務、印刷製本などの契約に関して手続きの適正を確保するため、社長を委員長とした契約手続審査委員会を設置しています。

i-MOVEMENTを通じ、業務高度化による安全性及び生産性向上に取り組みます

1 業務高度化に向け、NEXCO 中日本と協働して取り組みます

- ・道路管制センターのタブレット運用
- ・新交通管理システム切り替え
- ・伊勢原検証における日常点検高度化に向けた検証
- ・道路管制センターにおける SNS による情報提供 (Twitter・LINE)

2 新交通管理システムと連携した業務報告書システムの改良と運用に取り組みます

i-MOVEMENT 業務高度化による安全性及び生産性向上の仕組み

10年、20年後の未来へ

i-MOVEMENT

「次世代型技術革新による高速道路保全マネジメント」

各関係プロジェクトにおける調整事項を洗い出して整理し、グループの一員として高度化へ向けたチャレンジをしています。



高速道路の管理方法・体制の構築など時代変化に柔軟に対応していきます。

交通状況や道路構造などを踏まえた適正なリスク管理の推進を図ります。

イノベーションを加速させ、業務改善活動の活性化を推進し、社員と会社を成長・発展させていきます

- 1 「pato メモ」など、社員の声を業務改善に活かします。
- 2 自主調達の仕事を活用し、現場に即した資機材を迅速に導入します。

自主調達の仕組みを活用

NEXCO 中日本グループ一体となった生産性の向上のため、現場に精通した隊員が規制器材や CS グッズなどを選定・調達することでより迅速確実な作業ができ、お客さまの安全確保と早期離脱に繋がっています。

3 社内業務研究発表会で選出された業務改善策を NEXCO 中日本グループ業務研究発表会において発信します。

グループ貢献 (NEXCO 中日本業研) ★

パト東京の知見や技術、業務改善策をグループへ共有・発信しています。

2022 年度業務研究発表会

- ◆本選 「ガードレール取付収納型矢印板の開発」
御殿場基地 特別賞受賞!
- ◆ポスターセッション
- ・教育資料「AOJT」の作成
- ・B+com 骨伝導イヤホンの検証



自社の付加価値を生み出し、経営資源の最適化を目指します

1 安全性向上に寄与する自社製品の販売および路上作業安全講習会を開催します

自社ノウハウの活用・展開 ★

・新機能矢印板フォールディングシリーズ
社員の提案から製品化された高規格の高速道路に対応できる矢印板。視認性、誘導性、携帯性、操作性、作業効率向上する製品です。



ガードレール常設用「フォールディングアロー GR」

・携帯型 LED 表示灯「HP フラッシャー 800」
発炎筒が利用できない場面 (トンネル内やオイル漏れ処理等) でも発炎筒並みの威力を発揮できる製品を開発しました。



・路上作業安全講習会
高速道路に潜む危険性の説明や回避方法、トラブル発生時の対処法など、百戦錬磨の社員が様々な現場業務で培ったノウハウを基に、屋外での実技指導に加えて、動画や資料を用いた座学でのわかりやすい指導も行っています。



2 ホームページのリニューアルなど安全啓発情報等の発信を継続・強化します。

安全啓発情報などを発信 ★

・パトロールライブラリ「安全啓発動画」
高速道路利用者へ、事故防止・危険予知に活用していただくため、交通管理隊が毎日巡回をしている中で遭遇した「ヒヤリ・ハット」のドラレコ映像を提供します。



旗振り合図の解説動画 (NEXCO3 社で統一化)



コンテンツのタイムリーな更新

2023 年度 達成目標

達成目標	単位	2022		2023	2025	備考
		目標	実績見込	目標設定	目標	
安全性向上への取組みの深化	作業中死亡事故件数	件	0	0	0	
	労災事故件数 (延べ労働時間当たりの労災事故件数) ⇒過去3か年平均以下 ※交通管理・車限のみ	件/百万時間	2.46 件以下	2.40	2.40 件以下	過去3か年平均以下
	業務中事故 (延べ走行キロ当たりの作業中事故件数) ⇒過去3か年平均以下 ※交通管理・車限のみ	件/百万km	1.90 件以下	2.63	2.30 件以下	過去3か年平均以下
	車限隊の他機関合同取締り	回数	25 回以上	36	25 回以上	25 回以上
	重点取締り箇所における取締り時間	h	680 h 以上	820	680 h 以上	680h 以上
	安全掲示板登録件数	件	300 件以上	500	300 件以上	300 件以上
	安全提案具現化件数	件	50 件以上	60	50 件以上	50 件以上
明日を担う人財育成	B C P のための交通管制経験者数	人	100 人以上	127	100 人以上	最低 100 人を確保
	S S R 感動指数 (最高評価割合)	%	98.0%	98.2	98.0%	98.0%
	業務研究発表論文件数	件	14 件以上	15	14 件以上	各基地 1 件以上
	障がい者の法定雇用者数の確保 (ダイバーシティ)	人	11 人以上	11	11 人以上	最低 11 人以上
次世代への進化・チャレンジ	総労働時間 (生産性向上)	h/人	1,920 以下	1,860	1,920 以下	1,920 以下
	働きがい INDEX	ポイント	3.85 以上	3.86	3.85 以上	3.85 以上
	高速道路安全指導員認定者数	人	40 人以上	49	40 人以上	最低 40 人を確保
	高速道路安全指導員による安全講習会実施回数	回/人	1.5 回/人以上	2.0	1.5 回/人以上	1.5 回/人以上 実施回数/指導員数

2023 年度 PL 計画

	2022 年度 (見込み)	2023 年度		2024 年度	2025 年度	
		計画	上半期			下半期
【売上高】	3,300	3,375	1,687	1,688	3,391	3,411
高速道路事業	3,279	3,353	1,676	1,677	3,368	3,388
休憩所事業	0	0	0	0	0	0
その他 (関連) 事業	21	22	11	11	23	23
【売上原価】	2,850	2,940	1,447	1,493	2,958	2,975
高速道路事業	2,832	2,921	1,438	1,483	2,938	2,955
休憩所事業	0	0	0	0	0	0
その他 (関連) 事業	18	19	9	10	20	20
【売上総利益】	450	435	240	195	433	436
高速道路事業	447	432	238	194	430	433
休憩所事業	0	0	0	0	0	0
その他 (関連) 事業	3	3	2	1	3	3
【販売費及び一般管理費】	450	435	218	217	433	436
高速道路事業	447	432	216	216	430	433
休憩所事業	0	0	0	0	0	0
その他 (関連) 事業	3	3	2	1	3	3
【営業利益】	0	0	22	▲22	0	0
高速道路事業	0	0	22	▲22	0	0
休憩所事業	0	0	0	0	0	0
その他 (関連) 事業	0	0	0	0	0	0
営業外損益	4	4	2	2	4	4
【経常利益】	4	4	24	▲20	4	4
特別損益	0	0	0	0	0	0
【税引前当期純利益】	4	4	24	▲20	4	4
法人税	2	2	8	▲6	2	2
法人税等調整額	0	0	0	0	0	0
【当期純利益】	2	2	16	▲14	2	2

会社概要

商号：中日本ハイウェイ・パトロール東京株式会社
 代表者：代表取締役社長 大川 幸寛
 本社住所：東京都新宿一丁目17番11号
 設立年月日：2008年2月27日
 社員数：510名 (2023.4.1 現在)
 資本金：5,000万円 (資本準備金 5,000万円)
 株主：中日本高速道路株式会社 (100%)
 事業内容：高速道路等における交通管理、道路管制及び法令違反車両取締等業務



売上

主な事業 (2022年度売上見込：億円)	業務推移【百万円】	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度 (見込)	
高速道路事業	32.8	2,965	3,140	3,252	3,289	3,300	
休憩所事業	0	3	15	1	1	0	
その他 (関連) 事業	0.2	14	20	▲95	▲27	2	
全事業売上高	33.0	885	794	791	717	739	
		(内 固定資産)	151	144	159	244	250
		(内 純資産)	418	432	327	299	301

パトロール東京と SDGs

円滑な交通流の確保など、業務を通じて二酸化炭素の排出量削減に貢献しています。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

チャレンジ V と SDGs の繋がり

基本方針 | 基本施策 | 主なキーワード

SDG	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
安全性向上																		
人財育成																		
次世代への進化																		

コーポレートスローガン

安全・安心を追求し、感動をお客さまへ

『人がいないはずの高速道路上で仕事をしています』

交通管理隊員は、事故や故障車などの現場で、
高速道路上に立って緊急規制を行い、二次事故防止に努めています。
見かけた場合は隊員の指示に従い、
速やかに安全な車線への移動をお願いします。

中日本ハイウェイ・パトロール東京株式会社

〒160-0022
東京都新宿区新宿 1-17-11BN 御苑ビル7階

☎ 03-5379-2821

<https://www.nhp-tokyo.co.jp>

